

編集後記

総合情報センターは、2016 年度 4 月に情報戦略部門・教育デザイン部門・教育システム部門・ネットワークシステム部門・情報セキュリティ部門・ユーザーサービス部門の計 6 部門を設置し、センター内部で部門ごとに整理した業務を着実に実行して参りました。2019 年度末から世界中に広がった新型コロナウイルス感染症が契機となり、香川大学においてはオンライン教育体制／リモートワーク体制の整備が進みました。総合情報センターに求められる役割は、これまでおこなってきた情報基盤の運用・保守／デジタルサービスの提供に加えて、大学構成員が主体として実行するデジタル化／DX 化推進に対する貢献が求められるようになりました。こうした要請の変化に対応するため、総合情報センターは、2020 年 7 月には情報メディアセンターとして生まれ変わりました。部門も大きくは、大学情報及び情報基盤の戦略的整備計画の策定に関する企画立案部門と、作成された企画の元、適切に技術を運用管理する運用管理部門というように一段高い視点から組織編制がなされました。現在の各部門は基本的な機能を引き継ぐ形で、運用管理部門下に「部会」として置かれることになりました。

以上の背景から、本報告では、部門編成後の 3 年間の歩みや、新型コロナウイルス対応などの内容がメインとなっております。巻頭言にもありましたとおり、総合情報センターの 2019 年度のミッションは、クラウド化の促進などがありましたが、後になって振り返ってみますと、こうした平時対策としての環境適応性の高いシステム導入が 2020 年 4 月からの円滑なオンライン教育への移行の下地となりました。また、これまで香川大学が基幹校を務めてきた四国 5 大学連携による知のプラットフォーム形成事業（知プラ e 事業）で培われた e-Learning 運用における知見が、オンライン教育体制におけるマニュアル作成などの円滑な支援につながったことも本報告から読み取れるかと思います。

学生を含む大学構成員一人ひとりの頑張りがあったからこそ、2020 年の新型コロナウイルス感染症は乗り切ることができたと考えています。本年報では、センタースタッフ一丸となって取り組んだ大学構成員に向けた支援の様子を垣間見ることができるとと思います。本内容が読者の皆様の参考になれば幸いです。

最後に、本年報をまとめるにあたり関係各位に謝意を表したいと思います。

情報メディアセンター ユーザーサービス部会 部会長 米谷雄介

年報 第16号

令和 3 年8月発行

編集・発行 香川大学情報メディアセンター

〒760-8523 高松市幸町2番1号

TEL 087-832-1292

FAX 087-832-1293